

# 生物多様性から考える 外来生物問題

会 場 三重県松阪庁舎 6階 大会議室

日 時 平成28年11月11日(金) 13:00～17:00

我が国の複雑な地形や気候は、永い時間をかけて小さな国土に豊かな動植物相を育み、それらは密接に関わり合いながら、複雑な生態系を作り上げてきました。こうした生物多様性が持つ価値は、生態系サービスという言葉で知られるように、私たちの生活に計り知れないほど多くの恵みをもたらしてくれています。しかしその一方で、近年ではこうした地域の生物多様性が、行き過ぎた開発行為や外来生物の影響によって危機にひんしている事例も見られます。

そこで本セミナーでは、地域における生物多様性の持つ価値をあらためて見つめ直すとともに、特に外来生物の及ぼす影響に焦点を当て、その現状や課題、対策について実例を交えながら紹介することで、自然環境との共生に向けた地域のあり方を考えたいと思います。



## 第1部 生物多様性って、何？

三重県農林水産部 みどり共生推進課  
野生生物班 主幹 辻 公彦 氏

現代の環境問題を考える上で欠かせない「生物多様性」という概念。その意味や大切さ、現状や課題、それぞれの関わり方について、分かりやすく解説していただきます。

## 第2部 外来生物を取り巻く現状と課題～国の取り組み～

環境省中部地方環境事務所  
野生鳥獣感染症対策専門官 高木 丈子 氏

外来生物問題の現状は刻一刻と変化しており、今年度も新たな特定外来生物の追加がありました。そうした最近の動向や、国の施策について解説していただきます。

## 第3部 自治体における外来生物対策とその実例

飛騨市 環境水道部 環境課  
衛生係長 古田 善尚 氏

一地方自治体において、いかにして外来生物対策を行動に移し、地域の理解を得るのか。その最前線に立って活動されてきた古田氏の取り組みを語っていただきます。

© Turtle:GregHume Crayfish:Coniferconifer Raccoon:Bastique

